

番号	氏名	抱負
281	吉川 健太	
282	吉田 和則	この度、代議員に立候補いたしました東京医科大学病院の吉田和則でございます。これまで、東京支部において、学術大会やセミナーおよびフォーラムの開催に携わり、会員の技術向上に努めてまいりました。加えて昨年より、本部での学会事業評価委員会において、全国の学会事業の把握と、これからの学会事業のあり方について、検討を重ねております。今後、代議員として、日本放射線技術学会の発展に貢献できればと願っております。
283	吉田 耕治	本学会から、スタンフォード大学への研修を受けさせて頂いた事を筆頭に、多大な恩恵を受けたことに感謝いたしますとともに、この学会への御恩返しを形にしたいと考えております。現在、中国・四国支部の理事として微力ながら務めさせていただいておりますが、今回、代議員として可能な限り本学会の会員の皆様のため、放射線技術学の進歩発展のために貢献したく立候補させていただきました。どうぞよろしくお願い申し上げます。
284	吉田 豊	学生教育に携わる立場として、正確な知識の欠如がもたらす弊害を痛感し、日々、教育のあり方を思案しています。日進月歩の医療機器を安全に有効活用するためには、問題点を解決するための研究に加え、教育を受けて体系的に知識を習得することも必要です。安全かつ最適な放射線診療を患者さんに提供するため、教育面で学会運営に貢献したいと考え立候補いたしました。
285	吉武 貴康	近年、放射線の影響に世間の関心が高まっている中で、私たち診療放射線技師も被ばく低減に努めるべきだと思いますが、我々の業務においては線量と画質のバランスが重要です。最適化を目標とした研究や論文活動に協力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。
286	吉村 保幸	放射線技術の発展に寄与するため、日本放射線技術学会の代議員に立候補致しました。大学病院にて診療放射線技師を束ねる中央部門のトップとして、より良い放射線技術学の未来が迎えられるよう、可能な限り尽力したいと思います。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。
287	渡邊 浩	本学会関係法令委員長を務めて12年目になります。この委員会はパブリックコメントに専門分野の学会としての責務を果たすべく本学会の意見を述べてきました。また、平成24年4月1日施行の障害防止法改正では、医療に重大な障害を及ぼさない合理的な管理基準を取り入れるため、医療全体の中心となって活動しました。このような経験を通して本学会が公益法人としての社会的責務を果たすために貢献したいと考えております。